



Facebookページ 攻略

— 6日目 —



Facebookページの作成方法と使い方

Facebookページとは？

Facebookページとは、企業やサービスの名前でビジネス情報を発信できるページで、個人アカウント内に、個人とは別に開設します。

通常のFacebook投稿とは違い、営利目的で情報発信ができるビジネス専用ページで、Facebook内に開設するホームページのようなイメージです。

個人アカウントは、基本的に1人1アカウントが原則ですが、Facebookページは幾つでも作成することができるので、難しく考えずに作成していきましょう。

このページを使って集客をしていきますので、コンセプトが固まったら、投稿をスタートしていきます。

今後、広告の出稿もFacebookページからしていきますので、それまでにプロフィールやアイコン写真をしっかり設定して、投稿をし、ある程度アクティブな状態にしておきましょう。

Facebookページ作成方法

1. 個人アカウントにログインし、ヘッダーメニューの  → 「ページ」の順にクリック。



2. 「ページ名」と「カテゴリ」を記入します。

ページ名は、広告を配信した際に表示されますので、教室名が決まってから作成しましょう。ここでは例として、ページ名に「二田紀子@子ども体操教室」と記入しました。

「カテゴリ」は、スポーツと記入すると選択肢が下に出てきますので、そこから「スポーツ」と「スポーツチーム」を選択します。



3. 「Facebookページを作成」をクリック。



これでひとまずFacebookページができました。

ページの設定

次に、ヘッダーメニューの  をクリックして、トップ画面を開きます。



左サイドメニューから、「ページ」をクリックすると、作成したFacebookページの一覧が表示されます。

もし、「ページ」が見当たらない場合は、「もっと見る」をクリックすると出てきます。

表示された一覧の中から、先ほど作成したページを選択してクリックします。

(1つしかページを作成していない場合は、もちろんですが1つしか表示されませんので、それをクリックしてください。)

今後、そのページに、教室の内容や集客するための情報などを投稿していき、フォロワーさんを集めていきます。

なので、プロフィール写真とカバー写真は必ず設定しましょう。



1. プロフィール写真設定

円の右下のカメラマーク→プロフィール写真を編集→+写真をアップロードの順にクリックし、写真を取り込み「保存」。

推奨画像サイズ：横170px × 縦170px

2. カバー写真設定

カバー画像右下の「編集」→写真をアップロードの順にクリックし、位置を調整して「保存」。

推奨画像サイズ：横820px × 縦360px

ただし、PCで表示すると、このサイズから上下がやや見切れ、スマホで表示すると左右が見切れます。なので、ロゴや必ず表示させたい文字などは、端いっぱいに入れないようにしましょう。

何度でも修正できますので、一度画像を取り込み表示して、どんな感じか見てみると良いでしょう。

3. ユーザーネームを作成



これは何かというと、このページのURLの末尾につく独自のネームです。

最初にページを作成した時点では、Facebookから自動で付けられていますが、ユーザーネームを作成すると、独自のURLが作成されます。

例)

ページ作成時

<https://www.facebook.com/pages/facebookより割り当てられたURL>

ユーザーネームを作成

<https://www.facebook.com/ユーザーネーム>

一度好みのものに変更したら、その後は変更できません。

また、すぐに設定しなくても良いですが、ファンが200名を超えると変更できなくなるようなので、あまり先延ばししすぎないようにしましょう。

4. 情報入力と設定

少し下の方にスクロールしていくと、「ページ設定完了までのステップ」という項目が表示されています。

その中の「情報入力と設定」をクリックします。



その中の「ウェブサイトを追加」をクリックして、Instagram・Twitterなどを追加しておきましょう。

他の媒体からも集客しやすくなります。

また、オプトLP（お友達登録に飛ばすLP）が
できたら、それも追加しておきましょう。

営業時間や電話番号などその他の項目は、入力しなくても何も問題ありませんので、そのまま大丈夫です。

5. 投稿について

投稿の仕方は、個人のFacebookと同じです。

「投稿の作成」をクリックして、投稿してください。

この先、広告を配信するまでに、教室に関する情報やコンテンツの内容に関する情報などを、ちょこちょこ投稿して、このページがアクティブな状態にしておくことが大切です。

そうすることで、広告を回し始めた時に、比較的、コンテンツを必要としてくれそうなターゲットに回るスピードが早くなります。